

事業区分	文化芸術事業		鑑賞事業				
事業名	東京演劇集団 風「Touch～孤独から愛へ」						
目的・内容	平成20年度事業計画書による具体的方針「福祉と国際等の領域との文化の融合」に基づき、演劇公演と福祉施設でのワークショップを行う。 また、優れた演劇公演を通して演劇人口の拡大を図る。 *ワークショップ … 11月9日実施済						
開催日時	平成20年12月7日(日) ①午前 開演11:00 ②午後 開演15:00						
会場	とりぎん文化会館 小ホール						
入場料・参加費 (友の会・団体)	一般3,000円 (2,500円)	高校生以下・ 身障者(介助者) 1,000円	※当日500円増				
集客状況	入場者数	173名	設定席数	500席	集客率	34.6%	
事業費状況	予算額	収入	1,500,000円	支出	2,635,000円	収支比率	56.9%
	決算額	収入	268,000円	支出	2,424,820円	収支比率	11%
来場者 アンケート (主なもの)	<ul style="list-style-type: none"> ・3人でこれだけ伝えられるすごさを感じました。子育て、仕事をする上で大いに参考になりました。 ・内容のある演劇でよかった。脚本が良いと思った。最後は涙が出ました。 ・役者さんの素晴らしいチームワーク。何度でも観たいと思った。 ・一度の公演で、席が埋まった方が良いのでは。 ・当日券が500円UPになるのはいかがなものか。 						
1次評価 (内部)	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの満足度も高く、来場者の感想も好評であった。 ・福祉及び高校演劇のワークショップ参加者も含めた新規顧客の開拓を狙って、幅広く広報に努めたが、当初見込んでいた集客に至らなかった。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知度が低い劇団・作品における、既存の演劇鑑賞者層及び新規顧客層の拡大。 						
2次評価 (財団評議員)	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代が抱える孤独について、作品は平明に訴えており、好感が持てた。 ・福祉に関連したワークショップを行なったことは重要である。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係者の努力も十分に理解できるが、肝心の学校や演劇関係者に届かない。そういう風土が鳥取に定着している。教育・行政・市民で連携プレーの方策の検討。 ・地元のレベル・アップを図り、演劇の面白さ・楽しさを市民に提示すること。幼少時からの「鑑賞体験」、高校などの「創造体験」がカギ。 ・有名な俳優の出演・演目と娯楽性のあるものを考慮。 ・もう一度、「演劇」で鳥取の人に何を伝えるべきかを再考。 						
今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・同一日における、地元文化団体のプロ演劇招聘公演との重複がないように配慮する。日程の調整。 ・演劇においては、まず認知度が高くニーズのある作品の上演を重ね、演劇鑑賞者層を確保した上で、このようなマイナーであるが上質の作品上演という流れで、基盤を構築する。鑑賞者開拓の長期的なビジョンに基づいた順序立てが必要。 						